

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所施設整備に必要な経費		担当部署	初等中等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度		担当課室	特別支援教育課		特別支援教育課長 千原由幸		
会計区分	一般会計		施策名	II-10 特別支援教育の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所施設整備費補助金交付要綱		関係する計画、通知等	中期目標(文部科学大臣指示) 中期計画(文部科学大臣認可)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(以下「研究所」という。)の設置する研究所施設の整備充実を図るため、研究所が行う研究所施設の整備に要する経費に対して補助を行い、もって特別支援教育に関する研究のうち主として実証的な研究を総合的に進め、及び特別支援教育関係職員に対する専門的、技術的な研修を行うことによる、特別支援教育の振興を図ることに資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	研究活動、研修事業、教育相談活動、情報普及活動及び国際交流活動を安全、かつ、円滑で効率的に実施できるような環境を確保するとともに、障害者や高齢者をはじめ、広く一般の方々から来所しやすい施設・設備の整備を図る。 (補助率 …… 定額)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	48	48	48	28	23	
		繰越し等	0	0	0			
		計	0	0	0			
	執行額	48	48	48	28	23		
	執行率(%)	31	25	32				
		64.6%	52.1%	66.7%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)	
	研究所施設の整備を図る事業が計画通り竣工すること。		成果実績	年度内完成	年度内完成	年度内完成	年度内完成	
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	研究所施設の整備を図る事業が計画通り竣工すること。		活動実績 (当初見込み)	年度内完成	年度内完成	年度内完成	— (年度内完成)	
単当たりコスト	32百万円		算出根拠	X(32百万円)÷Y(1事業) X:施設整備に係った支出 Y:事業年度				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所施設整備費補助金	28百万円	23百万円	事業内容についての効果的・効率的な実施によりコスト縮減に努めるため。				
	計	28百万円	23百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	不用額を生じたのは、契約価格が予定を下回ったため。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっている	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	○平成22年度より、委託契約の相手方が再委託しようとする場合には、事前に再委託の相手方等について書面により提出させ、審査及び承認を行うものとしている。また、同研究所に設置している契約監視委員会において、契約について点検・見直しを行っている。		
	○独立行政法人通則法の規則に基づき、各年度ごと及び中期目標期間終了時において、文科省独立行政法人評価委員会による評価を行い、その結果を踏まえ、予算要求及び事業運営等に反映する。		
一部改善	1. 事業評価の観点:この事業は、特別支援教育の振興を図るため、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所の設置する研究所施設の整備を図るための事業であり、予算執行の観点から検証を行った。		
	2. 所見:この事業は、平成22年度において予算に不用が生じている。平成23年度において予算の縮減を図るなど一定の見直しを図っているが、平成24年度概算要求においても、引き続き事業の効果的・効率的な実施を目指し、コスト縮減等に努めるべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成23年度において予算の縮減を図るなど一定の見直しを図っており、平成24年度においても、引き続き事業の効果的・効率的な実施を目指し、コスト縮減等に努めることにより、概算要求に▲5.095百万円反映した。			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

文 部 科 学 省
32百万円

【補助】

A. 独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所施設整備費補助金：
32百万円

塩害や経年劣化のため設備の腐食が著しく、給水に支障をきたす恐れがあるため、受水槽、高架水槽等及び関係配管の更新を行った。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位：百万円)

〔随意契約(少額)・請負〕

B. (株)浦野設計
設計業務：0.9百万円

〔水槽類改修にかかる調査、設計、積算業務〕

〔随意契約(少額)・請負〕

C. (株)浦野設計
監理業務：0.6百万円

〔水槽類改修工事にかかる現場検査、竣工確認等〕

〔一般競争入札・請負〕

D. 竹村総合設備(株)
改修工事：30.5百万円

〔水槽類改修他工事一式〕

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。費目と使途の双方で
 表情が分かるように記
 載)

A. 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	水槽類改修他工事・設計・監理業務	32			
計		32	計		0.0
B.(株)浦野設計			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	水槽類改修他工事設計業務	0.9			
計		0.9	計		0.0
C.(株)浦野設計			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	水槽類改修他工事監理業務	0.6			
計		0.6	計		0
D.竹村総合設備(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	機械設備工事	23.6			
施設整備費	建築工事	6.9			
計		30.5	計		0